



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL http://www.newtech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年2月期第3四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	1,466	20.7	23	—	15	—	14	—
25年2月期第3四半期	1,214	2.9	△16	—	△13	—	△18	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	7.43	—
25年2月期第3四半期	△9.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	2,465	950	38.6
25年2月期	2,511	935	37.2

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 950百万円 25年2月期 935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—		
26年2月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	7.9	90	24.6	77	9.2	75	14.2	39.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	2,081,000株	25年2月期	2,081,000株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	164,195株	25年2月期	164,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	1,916,805株	25年2月期3Q	1,916,805株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新年度からの日銀の金融政策の転換による円安傾向により、大手輸出企業の業績回復が顕著で、これらの波及効果により、国内景気は緩やかな回復傾向となり、低迷が続いていた企業の設備投資も活発になってきました。

こうした状況の中、当第3四半期累計期間における、国内IT関連投資に関しても、設備投資需要の回復により、前年に比べ増加傾向にあり、近年特に災害によるデータセンター等の新規需要も期待されております。

このような環境の下、当社ではOEM製品について、開発から販売部門まで独立した組織の強化に注力し、新規のOEM先を開拓し、更に相手先の仕様に合わせカスタマイズされたOEM製品の拡充に努めております。一方、主力製品の機能強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバ、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせ、システムとして納入する販売形態）の販売強化及びサポート・サービスの充実に継続して取り組んでまいりました。また、小規模オフィス向けデスクトップ型NASソリューションの販売強化体制により、拡大するSMB、SOHO市場に本格参入して拡売を図っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,466百万円（前年同期比20.7%増）と大幅な増加となりました。製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラー製品、小型NAS）の出荷は521百万円（前年同期比33.3%増）と独立組織の成果もあり、大幅な伸びを示し、全体売上の拡大に寄与しましたが、ストレージ製品の内、RAIDの販売は後継機種の開発途上であることもあり266百万円（前年同期比13.6%減）と苦戦しました。しかしながら、NAS製品の出荷は好調（前年比75.0%増）で、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は、OEM製品と合わせ、全体で1,069百万円（前年同期比41.7%増）と極めて好調でありました。

商品売上は、ソリューション販売による付随的他社商品の売上は減少し192百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

また、サービス売上は204百万円（前年同期比6.4%減）でありましたが、これは、RAID製品の伸び悩みから、自社製品に付随する保守契約売上の新規計上が減少した結果であります。

一方、損益面につきましては、売上総利益率がOEM製品の増加により、前年比1.2ポイント下回ったものの、売上総利益額は売上の増加により380百万円（前年同期比15.4%増）と増益になり、開発費等の増加による販売管理費の増加（前年同期比3.2%増）を吸収し、営業利益23百万円（前年同期は営業損失16百万円）、経常利益15百万円（前年同期は経常損失13百万円）、四半期純利益14百万円（前年同期は四半期純損失18百万円）となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	期別		前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前事業年度	
			自平成24年3月1日 至平成24年11月30日		自平成25年3月1日 至平成25年11月30日		自平成24年3月1日 至平成25年2月28日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
ストレージ本体	716	△7.3	1,015	41.8	1,202	3.1		
周辺機器	38	△2.1	54	40.7	85	34.5		
製品小計	754	△7.0	1,069	41.7	1,287	4.7		
商品	241	32.3	192	△20.4	362	17.8		
サービス	218	17.7	204	△6.4	296	10.0		
合計	1,214	2.9	1,466	20.7	1,946	7.7		

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して46百万円減少し2,465百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の58百万円の増加、たな卸資産の28百万円の増加、売上債権の128百万円の減少等であります。

負債は、前事業年度末と比較して61百万円減少し1,514百万円となりました。変動の主なものは、仕入債務の46百万円の減少等であります。

純資産は、前事業年度末と比較して14百万円増加し950百万円となりました。変動の主なものは、利益剰余金の105百万円の増加に対し、資本剰余金の91百万円の減少によるものであり、自己資本比率は38.6%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の業績予想につきましては、平成25年10月1日付の「平成26年2月期 第2四半期決算短信(非連結)」において公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

- ・ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

- ・ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- ・ たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,399,507	1,458,067
受取手形及び売掛金	581,927	453,491
商品及び製品	83,785	80,948
仕掛品	62,170	78,057
原材料	185,458	201,032
その他	75,786	80,687
貸倒引当金	△141	△141
流動資産合計	2,388,493	2,352,142
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,530	14,783
工具、器具及び備品(純額)	25,690	19,715
有形固定資産合計	42,221	34,498
無形固定資産		
その他	7,735	4,181
無形固定資産合計	7,735	4,181
投資その他の資産		
投資有価証券	49,450	50,555
差入保証金	20,037	19,859
その他	3,793	4,176
投資その他の資産合計	73,280	74,590
固定資産合計	123,237	113,271
資産合計	2,511,730	2,465,413
負債の部		
流動負債		
買掛金	173,921	126,932
短期借入金	66,400	—
1年内返済予定の長期借入金	476,739	496,808
未払金	31,403	31,840
未払法人税等	4,569	4,236
製品保証引当金	20,079	21,773
前受収益	308,719	307,691
その他	60,736	29,386
流動負債合計	1,142,568	1,018,667
固定負債		
長期借入金	428,571	490,833
資産除去債務	4,148	4,203
繰延税金負債	932	1,247
固定負債合計	433,652	496,283
負債合計	1,576,221	1,514,950

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	608,360	516,925
資本準備金	608,360	105,515
その他資本剰余金	—	411,410
利益剰余金	△91,434	14,241
自己株式	△78,265	△78,265
株主資本合計	934,969	949,211
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	540	1,251
評価・換算差額等合計	540	1,251
純資産合計	935,509	950,463
負債純資産合計	2,511,730	2,465,413

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	1,214,634	1,466,130
売上原価	884,813	1,085,556
売上総利益	329,821	380,573
販売費及び一般管理費	346,145	357,307
営業利益又は営業損失(△)	△16,323	23,265
営業外収益		
受取利息	145	143
受取配当金	500	10
為替差益	—	4,214
投資有価証券売却益	15,015	—
その他	1,217	1,344
営業外収益合計	16,878	5,712
営業外費用		
支払利息	11,233	11,389
為替差損	211	—
その他	3,049	2,001
営業外費用合計	14,493	13,390
経常利益又は経常損失(△)	△13,939	15,587
特別損失		
固定資産除却損	2,565	—
特別損失合計	2,565	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△16,505	15,587
法人税、住民税及び事業税	1,425	1,425
法人税等調整額	371	△79
法人税等合計	1,796	1,345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,301	14,241

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年5月21日開催の第31期定時株主総会において、「第1号議案 資本準備金の額の減少の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金608,360千円のうち502,845千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金502,845千円のうち91,434千円を減少させ繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の損失の補填を行っております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)

当社は、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

当社は、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。